

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題：

緩和医療における副腎皮質ステロイド薬の使用状況調査

研究責任者：

藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座 教授 東口 高志

藤田保健衛生大学医学部 臨床薬剤科 教授 山田 成樹

緩和医療では、患者さまの残された時間を有意義に過ごしていただくために、患者さまの苦痛を軽減することを目的としています。患者さまの苦痛の要因としては、がんによる痛みが有名ですが、その他にも吐き気、倦怠感、食欲不振、呼吸困難、発熱などの症状が知られています。これらの症状は日常生活へ与える影響が大きく、更なる全身状態の悪化につながる可能性があります。緩和医療で副腎皮質ステロイド薬はこれらの症状の緩和に広く使用されています。しかし、その有用性についてのエビデンスは少なく、臨床現場では症状の緩和が得られないままにステロイドが長期使用されることも少なくありません。ステロイドは長期使用により様々な副作用が起きることが知られており、かえって患者さまの体調を悪化させてしまう可能性もあります。

そこで、私たちは、ステロイドの適切な投与を目指すために、2015年7月から10月に当院緩和ケアチームの診療を受けられた患者さまを対象に、ステロイドの使用状況を調査することと致しました。調査する項目は、年齢、性別、基礎疾患名などの情報と、ステロイドの使用歴、ステロイド使用前及び使用後の状態を示すデータです。検証に用いる患者さまのデータは厳重な管理のもとで保管管理いたします。

本研究の実施につきまして、データの利用目的を含む情報を本ホームページ上で公開いたします。研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、他の患者さまの個人情報保護やこの研究の独創性確保に支障がない範囲で、資料を閲覧していただくことが可能です。希望される場合は、担当研究者にお申し出下さい。本研究の対象になる患者さまで、ご自身のデータ利用を除外してほしいと希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡下さい。速やかに研究対象から除外いたします。なお、除外のお申し出により患者さまが不利益を被ることは一切ございませんのでご安心下さい。本研究の実施により、今後のがん診療及び緩和医療に貢献できると考えております。ご理解とご協力の程、よろしくお願いたします。

【問い合わせ先】 藤田保健衛生大学医学部 臨床薬剤科

教授：山田 成樹（やまだ しげき）

TEL：0562-93-2208 FAX：0562-93-4537

E-mail：syamada@fujita-hu.ac.jp